



鈴木絹代さん

今回は、伊豆半島南端近く、下田市白浜に住むスーパーウーマンの鈴木絹代さん(73歳)をご紹介します。

彼女のどこが「スーパー」なのか。
彼女のキャリアは、保健師さんとして始まりました。その後、看護師、介護士として活躍する中、ご自身の乳がん発症、そしてそれとほぼ同時に舅さんへの介護生活など、人並み以上のハンデを抱えながらも、育児、家事、ご自分の趣味(洋裁、絵画、短歌、畑仕事など)も忘れることなく楽しみ、現在もその活動を続けていらっしゃる方です。



tess社長鈴木堅之氏

そうした生活の中で特筆すべきことが、彼女のお子さんのお一人(鈴木堅之氏)が作られた会社(宮城県仙台市に拠点を構える医療機器メーカーTESS)の開発した車椅子cogyの普及に努めていらっしゃる事です。

この車椅子は「諦めない人の車椅子」としてTV、雑誌などのメディアでも頻繁に取り上げられていますので、ご存知の方も多いかと思います。
簡単に言うと、車椅子と自転車を組み合わせたようなもので、障害のある人でも自力で移動ができるように開発されたものです。

私事ながら、私の妻も9年前に脳卒中で右半身麻痺の状態になり、現在も要介護生活を続けていますが、このcogyの愛用者の一人です。



[「諦めない人の車椅子」cogyのパンフ](#)

現在の鈴木さんは、下田市のご自宅（海の近く）で、日々ボランティア活動と趣味を中心とした生活を送っていらっしゃいます。彼女曰く「うちの周りはわりと土地があるので、家の周りをcogyでぐるぐる回るような（自力走行）フィールドのようなものを作るのが私の最終ミッションかもしれません」とも熱く語ってくれました。

この車椅子自体は（購入するとなると）割と高価なものですが、現在は、介護保険も適用され、どなたでも活用（レンタル）できる基盤が出来上がってきています。ご興味のある方は、お試しいただければと思います。

取材：東・南・西伊豆地区担当 生きがい特派員 満富 俊郎